

1989/10/6

1989年9月20日

社団法人 情報処理学会

調査研究運営委員長 殿

データベース・システム 研究会

主査 牧之内 顕文

データベース・システム研究会継続について（お願い）

下記の通り研究会の活動を継続したく、よろしくお取り計り下さいますようお願い致します。

## 記

### 1. 継続希望研究会名

データベース・システム研究会

### 2. 継続の主旨

データベース・システムの研究はデータモデル、質問言語、質問処理、並列処理、さらに分散システムの研究が活発に行われてきた。現在、応用の広がりやデータの多様化により、オブジェクト指向データモデルに代表される新しいモデルの研究が活発化しはじめた。それに伴い旧来の研究分野に新しい内容が盛り込まれ、研究活動が活発化し始めている。さらにプログラミング言語やOS等の周辺分野との関連が注目されはじめ、相乗効果による新しいソフトウェアパラダイムの研究分野も切り開かれようとしている。また、応用の観点からはデータベースはいよいよその社会的重要性を増し社会のニーズに応じるための高速化、高可用性に関する研究はいよいよ必要になってきている。以上の理由により研究会の継続は必要と考え、お願いする次第です。

### 3. 研究分野

基礎理論、モデル、設計、言語、質問処理、並列処理、分散DB、

DBマシン、マルチメディアDB、オフィスシステム、CADDB、知識DB

### 4. その他

なし

以上